

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	肺炎地域連携パスの実態調査
研究責任者	聖隷浜松病院 呼吸器内科 中村秀範
研究実施体制	研究責任施設 聖隷浜松病院 呼吸器内科 研究協力施設 西山病院
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2024年 8月 31日
対象者	聖隷浜松病院呼吸器内科に入院した患者のうち、肺炎地域連携パスを使用し、転院調整が行われた症例。
研究の意義・目的	厚生労働省の2018年度人口動態統計における死因別死亡率では肺炎が第5位であり、本邦での死因の一つとなっている。これらの肺炎のうち、約7割に誤嚥が関与しているという報告(Teramoto S, et al. J Am Geriatr Soc 2008; 56: 577-579.)もあり、肺炎は高齢者の死因として重要な疾患となっている。高齢化が進む中、高齢の肺炎患者は確実に増加しており、急性期に依存する肺炎診療のスタイルは基幹病院の入院医療を破綻させかねない状況である。そこで、在宅復帰が困難な高齢の肺炎患者に対して円滑な転院調整を行うために、肺炎診療への地域連携パスの導入が全国で注目されつつある。当院呼吸器科では、2016年度から西山病院と連携した肺炎地域連携パス(以下、肺炎パス)の運用を開始している。本研究では、肺炎パスの運用状況を明らかにし、その有用性や問題点に関して明らかにすることを目的とした。
研究の方法	研究デザイン 後方視的観察研究 方法 対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行う。 年齢、性別、疾患、併存症、肺炎パス完遂率、肺炎パス逸脱率、逸脱例では逸脱理由、入院日、転院日、転院後転帰、等
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 呼吸器内科 (氏名) 河野 雅人 TEL:053-474-2222(代表) 呼吸器内科外来 9:00~17:00 平日